

# Profile

## ● 家族

未婚です。弟が一人います。結婚してかわいい姪がいます。仕事で海外に住んでいるのでスカイプで連絡を取り合っています。愛犬は携帯の待ち受けにいます。

## ● 学生時代

(幼稚園～中学)  
ずっと無遅刻、無欠席でした。病気や怪我を一切しない健康体に生まれ、両親に感謝しています。それぞれの母校で学んだことが今に繋がっていると実感しています。先生方にも感謝しています。今の子どもたちにもそう感じてもらえるように区の教育制度をしっかりと整えます。習い事はサッカー、水泳、書道、そろばん、ブラスバンド、英会話、塾と色々やらせてもらいました。幼稚園からやっているサッカーは下手の横好きでお恥ずかしいレベルですが、陸上や水泳の個人種目では区で入賞しています。国立競技場と辰巳国際水泳場を利用できたので嬉しかったのを覚えています。学力の面では、先生の教育方針だったのか、小学校と小学生の時に通っていた塾で大量の作文を書いたことが今の自分の一番の基礎となっている気がします。

(高校～大学院)  
高校はいわゆる進学校だったのですが、サッカー部中心の生活を送っていました。数学と物理・化学についていけなかったのも、部活引退後は私立文系に絞って受験勉強をしました。大学では、法学と政治学の科目を中心に履修しました。相変わらず大学でもサッカーサークルに入りました。学んだ知識はすぐに古くなりますし、知識だけなら一人でも学べますが、大学院、それも専門職大学院ではなく、従来型の研究大学院に進んだのは、国際法と労働法・社会保障法分野をライフワークにしたかったからです。

## ライフワーク

政治家としてのライフワーク（にしたいこと）の一つが、「労働法・社会保障法の研究とその実践」です。具体的には「働き方を変える」こと。現在の制度は様々な点でひずみが生じています。そのひずみを解消させるだけでなく、日本や台東区が発展・成長していくためにも不可欠な改革です。働き方を変えるということは、「教育」や「社会保障」にも切り込むことを意味します。ライフステージすべてに関わるのです。また、「教育」、「労働」、「社会保障」を一体的に捉えることも必要です。新たな価値観・発想で「働き方を変える」方向にある政策には全てチャレンジをしていきます。

## ● 秘書時代

本当に数多くの貴重な経験を積むことができ、阿部先生に感謝しています。秘書業務の他にも、政策決定過程についてのコラムを書いたり、「国際社会の動きと看護職」と題し、経済連携協定（EPA）や国際労働機関（ILO）について看護職を対象とした講演を行ったりと様々な体験をすることができました。また、米国の首都ワシントンDCへの短期留学も経験することができました。

## 米国で感じたこと

米国人には多様な価値観を認める寛容さがあり、日本人には和を重んじる精神があります。この点だけを見ると、どちらも同じような精神文化であるように思いますが、米国人は公的な場でも私的な場でも自らの立場を明確にするのに対し、日本人は意見を明確にしない傾向があります。日本型、米国型どちらにも長短あり、日本が米国型になるべきだとは思いません。しかし、国際的スタンダードは米国型です。日本人は国際的な場面では米国型になる必要があります。生活面では日本の方がはるかに住みやすいです。多くの留学生と出会いましたが、日本人の勤勉さ、規律正しさ、文化的水準の高さが際立ちます。他方、残念ながら英語力の低さも感じます。日本語でも同じですが、ただ英語が話せても中身がなければ魅力は感じません。豊かな教育、確かな技術力、秩序正しく勤勉な国民性があるのですから、これに議論する力や語学力が加われば世界から尊敬を集め、日本人が必ずや世界のリーダーとなれると確信しています。台東区から世界で活躍できる人材が育つよう力を尽くします。

## ● この度の挑戦

公認を受けるために党員になっていただいたり、ポスターを掲示していただいたりするのはとても重たい行為。応援して下さる皆様に本当に感謝しております。また、公認を獲得するにあたっては服部征夫先生に多大なご尽力を賜りました。公認後は志を同じくする仲間と東京自民政経塾で深谷隆司先生に御指導をいただいております。辻清人先生にもお力添えをいただきながら政治活動しております。この挑戦は一人ではできません。挑戦することとは多くの方にご迷惑をお掛けするということ。なぜ議員になりたいのか、なぜ皆様に頭を下げて支援をお願いしているのか、いつも自分と向き合っています。

## ● 趣味

観劇全般、特に宝塚（歌舞伎もミュージカルもよく観ます）  
サッカー（幼稚園からずっとやっています）  
将棋（幼い頃から2人の祖父とよく遊んでいました）  
旅行（計画をきっちり立て、短時間で多くの場所を回ります）  
乗り物やスポーツ・アウトドア系の資格・免許を多く保有しています

## 自民党の政治家として

### 1. 自民党は手段です

日本や台東区をより良くするための手段です。かつて「自民党をぶっ壊す」と言った総理がいました。国民のためにならない自民党であれば、私も同じ気持ちを持つでしょう。自民党の良い部分は引き継ぎ、良くない部分は新しく若い視点で内部から変えていく。そのような政治家でありたいと思っています。

### 2. 基本的な価値観や政策の方向性は同じです

しかし、党が掲げる個々の政策に盲目的になったことは一度もありません。党の政策と自らの考えが100%一致しているなどありえないことです。自らの考えが党の考えになるよう政治的な努力を行います。しかしながら、最終的に決まったことには組織の一員として一致団結する。この姿勢が大事だと思っています。

### 3. 自民党は地方組織が強みです

地域の声を都や国に届け、国や都で決まったことを地域で確実に実行するには地方組織が不可欠です。自民党にはこうした政策実現の仕組みがしっかり整っています。この点は新しい政党との大きな違いです。新人である私が地盤として活動している地域は自民党現職区議がない所。国と都と区の十分な連携を構築するため、しっかりと地域に根ざして活動してまいります。また、日本全体のことや東京都のことも常に心に掛けて区議会の活動をしていきます。

### 4. 自民党は政策力も強みです

情報を持つ行政と連携し、財源の裏付けがあり実現可能で未来に責任ある政策を打ち出すことができます。政府与党に関わり続けなければならない学問を専攻していた自分が野党自民党の議員のもとへ行く決断をしました。戦後の政治をつくってきた実績とこうした政策力があつたからこそ、自分の中でその決断が可能だったのです。政局や選挙よりも政策。専門性を深め、見聞を広め、政策面で区政をリードする政治家になれるよう一層精進してまいります。

### 5. 苦しい野党時代の自民党で議員秘書を経験しています

仕事量、資金面でも非常に苦しく、官僚や企業・団体も離れていきました。何よりも政策が実現できないことの辛さを経験しました。お約束した政策を実現できる側にいることが皆様に対する責任だと思っています。

## ● 学生時代のアルバイト

### 1. ホテルのフロントマン

ホテルは「サービス業の王様」と言われているのを聞き、就職に有利なのではないかという少々安易な考えで大学入学直後に始めました。社会人としての基本が身についたと思います。一流のホテルマンはお客様の顔と名前はもちろんのこと、好みまでしっかり覚えます。政治活動と似ています。外国のお客様もたくさん。英語で会話する勇氣だけは身についた気がします。

### 2. 講師

学習塾で小中学生に国英社と小論文、公務員予備校で大学生に法律を教えていました。中学校教師だった祖父も言っていました、「場」を作ることで、徹底した基礎学力を身につけさせることの大切さを実感しました。それは教える側の責任です。制度の問題でもありません。

### 3. スキューバダイビングインストラクター

ファンダイビングより講習が好きでした。命を預かる責任ある仕事。しっかりと事前準備と現場での判断力・決断力が求められます。進むだけでなく、引くことも大事。サービス業でありながらお客様に対するリーダーシップが必要な仕事でもあります。必要なことを短い言葉で端的に伝えるプレゼンテーション能力も求められます。この頃の肌は健康的な小麦色、身体は引き締まっていました。

## ● その他

SNS等：今のところFacebook、Twitter、Instagram、LinkedIn等をやる予定はありません。LINEもやっていません。使い勝手が良いので「ガラケー」がお気に入りです。動画配信は将来的にやってみようと思っています。

苦手なもの：カラオケ。今の立場になってから、今まで以上に周りから歌うよう勧められます。好きな音楽は宝塚で歌われた曲全部。ミュージカル曲、クラシック曲、和楽器を含む器楽曲をパソコン作業の際によく聴きます。